

令和元年度 第5回中津江グループホームなごみ運営推進会議議事録

実施日時	令和 2年 1月 23日 (木) 14:00～15:00	
場所	中津江・福祉複合施設なごみ	
出席者	別紙参照	
前回からの継続課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ ④ ・ 有 	
	内容：なし	
はじめに	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループホーム（以下 GH）管理者より挨拶。 インフルエンザだけでなくノロウィルスの感染症も流行時期となっている。山口県感染症情報センターの発生週報によると他市に比べ萩市の発生状況は少ないものの、感染症対策を行いながら健康管理に努めるようにしている。面会制限は行っていないが、入室時に手洗いと嗽を実施しているので協力をお願いしたい。 	
近況について	利用者状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ GH 管理者より、令和元年 12 月～令和 2 年 1 月の利用状況（利用者の平均年齢、平均要介護度、入退所状況等）を説明する。 (退所 3 件…医療機関への入院) (入所 2 件…在宅より入所)
	活動状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ GH 計画作成担当者より、なごみ便り（第 105 号/R1. 12 月、第 106 号/R2. 1 月）を紹介する。家族交流行事として忘年会、保育園児との交流、餅つき・しめ縄・門松作りの様子、初詣、お正月の過ごし方等について説明する。 ・ GH 計画作成担当者より、令和元年 12 月及び令和 2 年 1 月の事故報告と対策について説明する。 ・ GH 計画作成担当者より、身体拘束廃止部会の取り組み状況について説明する。 職員が感じるストレスについてアンケートを行った結果、業務多忙や人員不足、認知症でのケアにおいてストレスを感じているとの結果があった。業務改善を行える部分については検討をしていくが、そのストレスを溜め込まずに発散している方法についてもアンケートを実施中である。 ・ GH 管理者より感染対策について説明する。
評価	利用者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家の中において身体を動かさないとだめになるから、どっかに出掛けて身体を動かすといい。昔も今もよく歩きよるから散歩するのがいい。

評 価	家 族	<ul style="list-style-type: none"> 身体拘束廃止部会でのアンケート結果を聞いて、業務が重なった時や利用者の対応でストレスを感じる場面があるとのことだが、個別でもお話しボランティアや家族として対応することで少しでも協力できればと思う。(家族)
	地域住民	<ul style="list-style-type: none"> 身体拘束廃止部会でのアンケート結果を聞いて、人員不足との内容があったが、介護人材が足りていないのでしょうか。ストレスを多く抱えたままだと、利用者に対しても良いケアが出来ないと思われる。(中津江1区町内会長) →人員基準は満たしているが、身体介護や日常生活でのお世話等、GHでのケアを行う上で個別に関わりが必要な利用者もいる。個別に関わりながら、他利用者への対応もしなければいけない場面もあり、人材が必要と感じる事もある。現在、お話しボランティアとして、社会福祉協議会を通じて『いるか隊』の方に来所してもらっている。話しを聞いてもらいたい利用者が多い中で、地域の方でもお話しボランティアとして入ってもらえる方がいればお願いしたいと思う。(GH管理者) 転倒事故が多いが、職員が手薄となる夜間や朝方の時間帯が多いのでしょうか。(中津江1区町内会長) →どちらかと言えば、職員配置の少ない時間帯に多いが、歩行が不安定な利用者に対しては、コールマットを使用して早期に駆けつけて対応できるようにはしている。独歩の利用者が多い中で、完全に転倒事故を無くすことは難しいが、同じような事故が起らないように、職員間で対策を行うようにしている。(GH管理者) なごみやかがやき、萩市内の他の施設等、色々な施設があるが、施設の違いについて教えてもらいたい。 (中津江シルバーハウジングH棟管理者) →介護保険施設なので、要介護認定を受けた方が対象であり、要介護度や介護環境等によって対象となる施設が異なってくる。(GH管理者)
	市町村等	<ul style="list-style-type: none"> 介護人材については、配置基準は満たされているが、より質の高いケアを行う上で、人材が必要となる場面が多いが、人材不足が顕著となっているのが現状だと考えている。介護の担い手を確保できるように、市として今後も検討していく。認知症ケアでは心的ストレスを感じる場面が多いと思うが、アンガーマネジメント研修を行うなど、上手くコントロールしながら業務を行ってほしい。 (萩市高齢者支援課)

<p>評 価</p>	<p>市町村等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事故報告の中で、転倒に関する事故が気になった。見守りが難しい時間帯もあると思うが、人員や環境等の工夫をしながら関わりを持ってもらいたい。 (萩市在宅介護支援センター) ・ 広報誌の中で、年末年始は昔ながらの過ごし方を利用者で行っており、とても良い取り組みだと思う。今後も継続してもらいたい。(萩市在宅介護支援センター) ・ 趣味を活かしたボランティア登録は増えており、必要な場面でボランティアが介入できるのではないかと思う。また、してもらいたい内容があれば相談をしてもらいたい。 (萩市社会福祉協議会) →単発でのボランティアも大変ありがたいが、お話しボランティアのように利用者の側で話しを聴いてもらえるようなボランティアの方がいれば紹介してもらいたい。 (GH 管理者)
<p>質問・助言・要望等</p>	<p>市町村等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2/23 『病院で看取るといこと地域で看取るといこと』をテーマに講演会が行われる。医療福祉関係者だけでなく一般の方も参加可能なので、是非参加してもらいたい。 (萩市高齢者支援課)
	<p>グループホーム</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3月初旬頃に、夜間帯を想定した避難訓練を予定しているので、地域の協力をお願いしたい。(GH 管理者) ・ GH では調理献立部会が中心となり、献立作成を行っている。今年度は献立に『お好み/思い出メニュー』として利用者の嗜好品を取り入れている。利用者がどのような献立を好まれているのか、運営推進会議後に昼食会を行いたいと思うかどうか。(GH 計画作成担当者) →出席者へ確認にて、次回の運営推進会議後に昼食会を行うこととなる。(GH 管理者) ・ 萩市防災メールで所在不明者情報が入ってくるが、SOS 徘徊ネットワークとはどのような制度なのか。 (GH 計画作成担当者) →萩市では平成 23 年から徘徊・見守り SOS ネットワークを実施している。 地域包括支援センターにて事前登録し、徘徊等で行方不明になった場合に、警察署や協力機関等への情報提供によって、早期に発見し保護する制度となっている。2 月には田万川にて徘徊模擬訓練を実施する予定。 (萩市高齢者支援課)

	<p>グループホーム</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運営推進会議での議題について、日本 GH 協会発行の『運営推進会議テーマ例一覧』を参考に、会議の場で聞いてみたいことや確認してみたい内容があれば挙げてもらう。 (GH 管理者) →職員が感じるストレスの部分で人員不足の内容もあったので、GH の職員配置について知りたい。また、地域と施設がどのような交流が出来るのか考えていきたい。 (中津江 1 区町内会長) ・ 3/14 講演会『いつの間にか始まる認知症』の紹介。 (GH 管理者)
	<p>次回会議までの 継続課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護保険施設について ・ グループホームの職員体制について ・ 地域交流について
	<p>備 考</p>	<p>次回：令和 2 年 3 月 26 日（木）11:00 開催予定 開催場所：中津江・福祉複合施設なごみ ※会議終了後に昼食会を開催予定</p>